

城端地域まちづくり検討会議 会議録

城端行政センター

件名	城端地域第9回まちづくり検討会議										
日時	平成30年 8月30日(木)	場所	城端庁舎 2階 202・203会議室								
出席者	[検討会議委員] 12名 [ファシリテーター] 谷内博史、能登貴史										
内容	視察研修の感想、まとめに向けた進め方、分科会での議論										
詳細	<p>◎視察の感想 (視察研修アンケートの結果は別紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太平洋側でも人口減少、少子化など対応している実態を見聞きできた ・ニーズに則したまちづくり、交流人口目標など立てて具体化 ・地域住民がターゲット ・小学校跡の活用に図書室レベルでも使い方次第で有効 ・岐阜の場合は図書館の説明もっと伝えた方がいいのでは？ メディアコスモスは市民の意見がほとんど問入れられていないのが残念 ・城端の場合は、しっかり充実した図書館を検討すべき ・じょうはな座と一体的なものとして創る新たな発想 ・岐阜の1/10のものつくるのか？ 施設の大きさ、人口規模の問題ではない。 ・地域住民のつながりをつくる、地域住民のニーズ、地域住民が納得できることが大事 ・新しい図書館とは何か？のイメージ 子どもたちが勉強じっくりしていた } これが特徴 子育て中の人が集う } ・図書館司書さんに余裕あるためか様々な試みが見られた <p>◎10月末を目途にまとめる？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区、商工会、城端地区自治振事務局がどうなるか？ 図書館+賑わいが中心機能となりそうだが これらのことを先方とよく協議して提言まとめたい ・誰でも直せる、使える、お金かけないことが大切 ・城端なりのものを作っていき、城端らしいにぎわい、何をメインにするか？が大切 子ども～お年寄まで集えるということを根本的に考えたい ・城端は人も歩いていない、図書館は老人ばかり この現状をどう変えるか ・コンセプト～設計、意思決定スピーディーに住民参加ですること ・住民ニーズに則したところ「図書館だけ」にならないようにすべきでは ・「施設」でなく仕組み、という発想も必要 ・南砺市の現在の図書館システムは市独自で全国検索と別システム、互換性がないと分かった、誰でも使えることはとても大事 <p>◎分科会</p> <table border="0"> <tr> <td>[にぎわい]</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>[子育て支援、高齢者の集う場]</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>[複合交流施設]</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>[仕掛け、システム、情報発信]</td> <td>3名</td> </tr> </table> <p>[子育て支援・高齢者の集う場]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児の子供が病気になった時に預かってもらえる ・サロン活動(各町内会でやっていることを集約) いつきても人がおり、来た人が楽しめる場 ・土・日曜日に親子で気軽に遊べる → 一緒に食事もできる ・いろいろな悩みの相談にのってあげられる(高齢者が対応) →みんなが楽しんで利用できる場所 趣味でそばをうっている人の店を出せるように一飲食組合から反対される？ ・気軽に入ってコーヒー飲める所がない ・住民が行政におんぶにだっこになってしまった この意識をかえないとダメ ・住民が真剣にとり組んだ時は市職員も協力を！！ 主体は高齢者 ・昔の遊びを教える ————— 清部さんのひだまりクラブ (将棋、オセロ、棒たおし) ・高齢者の余暇を多世代がつながる場へ 悩み事相談(無記名) 			[にぎわい]	3名	[子育て支援、高齢者の集う場]	3名	[複合交流施設]	3名	[仕掛け、システム、情報発信]	3名
[にぎわい]	3名										
[子育て支援、高齢者の集う場]	3名										
[複合交流施設]	3名										
[仕掛け、システム、情報発信]	3名										

- ・ペタンクができる場所
- ・カフェ・軽食が食べれる場所 弁当持参でもよい
最初からでなくても人が増えれば、やりたいという人が出てくるかも
- ・元気な高齢者が5～10人常時いて、子供たちに教える

「誰もが健康で楽しく生活できるように」

【複合交流施設】

- ・商工会、土改に議論の内容を説明し早めに相談、新規施設に入る？入らない？←条件によって変わる
入ってもらえるなら受付、サービス、除雪などの受け手になれるか？←できればそうしてもらいたい
- ・何を入れる必要があるのか（再編統合の対象施設の機能として）

「図書館」
どうしても必要、たくさんの量は要らない、コンパクトで良いもの
城端関連資料、各種新聞・雑誌、親子で読み聞かせ、落ち着いて勉強できるスペース

「勤労青少年ホーム」

「起業家支援センター」

「保健センター」
南砺中央病院へ移転として考えるが福祉関係の窓口機能や子育てのアドバイス

「商工会」

「美山荘（地区社協）」
風呂は難しいのでは？井口や桜ヶ池を利用した方がいい
無くなることも考えるべきだが美山サロン、健康マージャン、カラオケ大会など社協の窓口機能設置
によって、いろんなイベントへの参加サークルなどの手助けもできるのでは？

- ・健康づくり
JOYに無いもの、全天候型ペタンクコート、カラーリングコート（試合や練習後にカフェで休憩）
- ・じょうはな座を一体化（2階建てでじょうはな座に併設）じょうはな座の会議室も有効に活用
単なる足し算ではなく、それ以上のものにしなければならない
どうやって人を呼び込むか
コンシェルジュが大事（つなぐ役割、連携、いろんな機能を上手に交通整理できる情報通の人）
- ・NPO や小グループなどの育成

「地区ごとバラバラ」ではなく「オール城端」で！

<p>備考 課題・宿題・ 今後の対応等</p>	<p>【次回開催】 平成30年9月27日(木) 午後7時～ 城端庁舎2階 202会議室</p>
---------------------------------	--

視察研修アンケート結果

① 今回の視察研修の内容はいかがでしたか？

1) 大変参考になった

②理由：他県の施設を見学し見聞を広めた

現場の声を直接聞いた

見聞は一見にしかず。にぎわい交流の先例の現場を直接見ることができた。

2) 少し参考になった

②理由：やはり、私達には「無い」ものを見ることができた

今からやろうとしていることに、ヒントとなるものがあった

旧小学校を使用したということが参考になった

3) あまり参考にならなかった

②理由：－

4) 全く参考にならなかった

②理由：－

③ 「グルッポふじとう」で印象に残ったことは？

よかったところ

廃止された小学校を上手にリニューアルし、地域の住民意見を取り入れ非常ににぎわっていた

まちづくり会社とNPOの連携が上手くスピーディー

明るくて空気感が良い

元学校ということが住民の愛着を生む

旧校舎の活用、国内でも最初のニュータウンが抱える悩みの中でのまちづくりは、私達とは違う

課題であっても共通するところがある

古い施設(小学校)を改修して有効活用している。今の春日井市のニーズに合った取り組み方をしている。

よくなかったところ

年間維持費が高すぎる

私達と条件がだいぶちがう

図書館を作る目的でなく、施設のにぎわいとして使っているように思えた

視察が図書館が目的と言っていたからか、説明が図書館についてはなかった

城端とは背景、規模が大分違うのでそのまままねることはできないがヒントになる。

④ 「ぎふメディアコスモス」で印象に残ったことは？

よかったところ

学びの環境の整った良い施設であった

多くの司書がいることで仕事を作りだしている

すばらしいものを見せてもらった

司書のポップアート、手書きとアナログの良さがあった

我が市の学校司書さんにも見てもらいたい

大都市の中心に位置し大きさにおどろいた。大成功、斬新、ユニーク

よくなかったところ

お金のかけすぎ

市民ニーズとズレてる気がする(富山キラリでも感じた)

できそうもないものが多かった、ヒントは皆無ではないというか、予算がちかひすぎる

岐阜市立図書館が本館と分館の二つということで規模が大きいのはもっともと思う

司書が充実しているように思われた(学校司書も含む)

単純にまねても良いと思われない

⑤ 視察を通して、今後の具体的な取り組みの検討に是非取り入れたいことについて、その内容と理由をお聞かせください。

耐用年数を経過した施設を整理し市民のにぎわい等の向上に連携する拠点づくりになれば良し
市民活動の核となるべき人の声を取りいれる
利用者（想定される）の意見をきく
スピード感とコスト意識を大事にする
今、私達が使えるスペース（建物）内で、大きくなくてもゆったりとしたスペースを生み出すためにも、駐車場スペースを城小グラウンドにとることがいいと思う。「都市計画」か何か（？）
あるらしいが、それを解決すれば、土地的な余裕ができる。その他、まつりの駐車場にも活用できる。城小の避難路、スクールバス通路にも
じょうはな座とジョイント結合した建物にすべき
城端では、図書館そのものを充実したものとすることを前提とし、施設のにぎわいに図書館を利用することがあってはならない
城端の場合のにぎわい、交流の人達をどのような対象にするか目標を定めて具体的に検討する必要がある。平・休日、春夏秋冬、町民、外来者の割合、男女比、年齢構成など設定して施設の規模、内容が決まってくる。
城端らしさ、ユニークさ、特徴を行かすこと必須。

以上